



夏も近づく八十八夜～ で始まるちゃっきり節。  
 茶摘みの唄として、本町でも昔からなじみの深い唄です。  
 毎年、新茶の時期が近付くと、「寝たきりのおばあちゃんまでしゃきっとして茶畑に繰り出す」といわれるほど、お茶づくりはこの地に根付いた産業であり、ここに暮らす人々の生きがいとなっています。  
 先人から受け継がれた、全国に誇る「川根茶」。  
 普段何気なく飲む一杯のお茶にも、さまざまな人の誇りが込められているのです。  
 川根茶は、単なる「産業」ではなく、暮らしに溶け込んだ一つの「文化」。  
 この町のみんなで共有する「誇り」。  
 みんなで見つめ、そしてみんなで考えましょう。  
 新しい「川根茶の里」というまちづくりの形を。

【特集】  
**誇り**

川根茶と共に歩む未来

手揉みの技を伝承  
 手揉み保存会講習会にて

2008.11月号 目次

- 2・四季彩々 ～しきさいさい～  
06 地名の田んぼに案山子登場
- 3・特集 誇り  
～川根茶と共に歩む未来～
- 20・役場の窓辺から  
財政健全化判断基準などの公表 ほか
- 25・知ってトクする健康の話 30  
澤井直子保健師
- 26・このまちこのひと  
池上隆三さん・則子さん
- 28・まちの話題
- 30・生涯学習のひろば
- 31・あなたの身近に裁判員制度 4
- 32・くらしの情報ページ
- 34・みんなの広場  
生まれてくれてありがとう ほか
- 35・緑のふるさと協力隊員奮闘記  
千江の輪 NO. 5
- 36・学校レポーターズコラム  
川根高校3年 植田淳也さん  
綴じ込み・くらしのカレンダー



黄金色の稲穂の中に  
 今年も案山子登場  
 撮影日：平成20年9月25日  
 撮影地：地名地区

川根本町の人口 平成20年10月1日現在

世帯数	3,104 世帯(-8) [55]	出生	5 人【 】
総人口	8,884 人(-22) [76]	死亡	15 人【 】
男性	4,352 人(-11) [22]	転入	10 人【 2】
女性	4,532 人(-11) [22]	転出	22 人【 】

※( )内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動  
 ※外国人の数を含む



ここにも、一つの物語。  
 広報かわねほんちょう

四季彩々  
 ～しきさいさい～  
 06